

Q 防災体制の充実に ついて

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 女性視点が増えるよう発信を 続けていきたい

問 避難所運営において想定される課題は。

答 避難所では、要配慮者や体調不良者などが共同生活を送ることになる。避難所はホテルなどの快適に過ごすための施設ではないため、健康被害やプライバシーの保護など、様々な面で課題がある。そのため、防災倉庫などにパーティションなどの多くの資機材を保管している。

問 防災会議のメンバーに女性を増やす取組を。

答 防災会議の委員改選時に、なるべく女性の推薦を、各関係機関にお願いしたが、女性の割合は増えなかった。今後も女性の委員拡大に向けて努力を続けていきたい。

問 避難行動要支援者の避難訓練は。

答 市総合防災訓練で個別の声



防災体制の充実を！

Q 街頭防犯カメラ設置の 妥当性は

ふくしま めぐみ
福島 恵美 議員



A 現時点で未定だが、地域における 防犯対策の一つとして検討

かけをしての参加はない。今後、身体状況や参加希望を丁寧に聞き取りながら、参加していただけるようお願いしていきたい。
問 両親が帰宅困難者となった場合の学校の対応は。
答 保護者の迎えがあるまで子どもを学校で預かる。
◎その他の質問
一 教育環境の充実について
二 公園に洋式トイレの設置・改修は

街頭防犯カメラの設置で市民の安心安全につながるのであれば歓迎したいが、市民のプライバシーがリスクに晒される心配もある。コストとリスクに見合う防犯効果があるのか。
問 導入と維持管理のコストは。
答 導入コストは1台当たり数十万円程度、維持管理コストは1年間で1台当たり数千円から数万円程度と認識している。
問 映像流出防止策は。
答 複数の情報セキュリティ対策を施すことが必要である。
問 刑法犯認知件数の推移は。
答 平成15年を100%とした場合、令和元年が30・3%、令和5年が23・1%である。



問 専門の学者は、「現時点で防犯カメラの効果は不明瞭」、「具体的な実証的データによる検証方法も未確立」と指摘している。検討にあたって最も重視した、防犯カメラが防犯に資するという科学的エビデンス（根拠）は。
答 現在、個々具体的ということではないが、先進事例を見て、効果を感じている。プライバシーへの配慮、安全性や安心性、費用対効果のバランスを整えながら前に進みたいと考えている。
◎その他の質問 S O G Iで差別されない鶴ヶ島へ